

開講年次・時期	1年通年	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	介護の基本 I	担当者名	小笠原 仁美
授業の概要	介護の歴史を背景に、介護を必要とする人の尊厳を尊重しながら専門職として基本的な考え方を学ぶ。生活(暮らし)の要素を分析的に理解し、その人のニーズを理解する視点を身につける。				
科目の到達目標	①介護の歴史や時代背景を理解する。②尊厳の保持と自立支援に基づいた個別支援を理解する。③生活の要素、特性を学ぶとともに生活のニーズ、生活環境の重要性を理解する。④気付きや意欲を引き出すコミュニケーションと人間関係のあり方を理解する。⑤ICFの考え方を学ぶとともに、介護とリハビリテーションについて理解する。				
DPの観点	①判断力 ②専門知識・技能 ③意欲・継続力 ④協働力 ⑦主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの専門用語の予習・復習を行う。それぞれ30分程度行うことが望ましい。				
フィードバックの方法	ミニテストを数回行い理解度を図る。				
単位認定の要件	ミニテストと期末試験(筆記)を行い総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	ミニテスト30%、期末試験50%、授業内態度10%、演習10%				
履修上の注意事項	30分以上の遅刻は欠席とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			【介護についての理解】介護について、コミュニケーション手法を用いながら説明する。	①②③	コミュニケーションカード
2			【自立に向けた介護とは①】介護の成り立ちを理解する。	①②③	コミュニケーションカード
3			【自立に向けた介護とは②】介護の概念、見方、考え方を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
4			【生活支援としての介護①】介護の専門性について理解する。	①②③	コミュニケーションカード
5			【生活支援としての介護②】自立と自律に向けた介護を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
6			【生活支援としての介護③】共感的な関わりや個別ケアの考え方を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
7			【生活の理解①】生活の構成要素を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
8			【生活の理解②】生活の特性、生活の多様性を理解する。	①②③	ミニテスト
9			【生活の理解③】高齢者や障害を持った方達の暮らしと介護を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
10			【生活ニーズとその人らしさ①】背景を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
11			【生活ニーズとその人らしさ②】その人らしさを支える介護を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
12			【生活ニーズとその人らしさ③】生活ニーズの把握と個別支援の関係を理解する。	①②③	ミニテスト
13			【生活障害の理解①】生活障害の視点を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
14			【生活障害の理解②】演習を通して生活習慣の多様性、個性を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
15			【生活環境の理解①】利用者に合う生活環境や支援方法について学ぶ。	①②③	コミュニケーションカード
16			【生活環境の理解②】くつろぎの場や安心できる居場所について学ぶ。	①②③	コミュニケーションカード
17			【さまざまな生活支援①】身体介護と家事支援の意義を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
18			【さまざまな生活支援②】生活支援ニーズを見出す相談援助とその意義を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
19			【実践①】要支援者についての理解を深めるとともに、レクリエーションの発表準備をする。	⑦	演習
20			【実践②】要支援者についての理解を深めるとともに、レクリエーションの発表リハーサルを行う。	⑦	演習
21			【実践③】要支援者についての理解を深めるとともに、レクリエーションの発表を行う。	⑦	演習
22			【尊厳を支える介護①】尊厳を支える介護を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
23			【尊厳を支える介護②】QOLとノーマライゼーションの考え方を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
24			【尊厳を支える介護③】演習を通して尊厳を支える介護を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
25			【ICFの考え方①】介護によるICFの捉え方を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
26			【ICFの考え方②】演習を通してICFに基づくアセスメントを理解する。	①②③	ミニテスト
27			【介護とリハビリテーション①】介護実践とリハビリテーションの考え方を理解する。	①②③	コミュニケーションカード
28			【介護とリハビリテーション②】リハビリ専門職との連携を学ぶ。	①②③	コミュニケーションカード
29			【介護とリハビリテーション③】スタッフとの連携、介護予防、片麻痺者の支援方法を学ぶ。	①②③	コミュニケーションカード
30			【まとめ】自律に向けた介護、要介護者の理解、支援方法、ICF、リハビリ等のまとめを行う。	①②③	ミニテスト
期末試験	これまで学習した内容の振り返りを行う。				

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第3巻「介護の基本 I」 中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	当日資料を配布する。
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--